

学年	2 学年	実施期間	5 月 1 8 日 (月) ~ 5 月 2 2 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	小説を読む。	<p>○場面や登場人物を的確に捉え、人間について考察する。</p> <p>○語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。</p>	<p>○教科書のP117～「バックストローク」を読んで、あらすじをG-suiteで確認する。 ○ 登場人物について、人物像や心情を読み取る。</p> <p>○文章を読み、各意味段落にふさわしいタイトルを考える。</p> <p>○学習の目標を意識して見通しを立て、学習活動について振り返りを記入する。</p> <p>○ 課題シートはPDFファイル2枚を打ち出して記入し登校の際に提出する方法と、グーグルクラスルームで受信し必要事項を打ち込み送信する方法のどちらでもよい。</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力)
	古典 A	古典に親しむ	○古典作品を読み、味わう。	<p>○教科書のP26～「初冠」を読んで、共感したり、疑問に思ったり、自分なりに考えたりしたことをA4版レポート用紙1枚にまとめる。</p> <p>○文章を読むのに必要な語句の意味や用法等を確認するため、辞書等の補助教材を活用し、調べたことについてもまとめる。その際、インターネット等を活用することも考えられる。</p> <p>○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める中で気付いた点や工夫した点等を随時記入する。</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「知識・理解」を評価する。また、提出された文章と振り返りにより、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・古典作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力) ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)
	古典研究	大和物語「姨捨」	○古典作品から現代について考える。	<p>教科書のP38大和物語「姨捨」を学習していきます。</p> <p>① 各地に伝わる「姨捨伝説」について調べ、まとめる。</p> <p>② 姨捨が、現代と関連する部分を考えて、自分の考えを書く。</p> <p>インターネット等を活用すること。</p> <p>①・②を調べてA4版レポート用紙1枚にまとめる。(組・番号・名前忘れずに)</p> <p>その際に、何を使って調べたのかを「参考文献」として明記すること。(インターネットの場合、URLを載せること。)</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姨捨伝説の内容とその存在を知り、現代との関わりについて考えている。(読む能力)

地理歴史	世界史 B	○西アジア世界と地中海世界 4 ギリシア文明#2 5 ローマ帝国#1	○ポリス社会の発達と衰退の過程について、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。 ○ギリシア文明やヘレニズム文明と現代の社会とのつながりを考える。 ○ギリシアの民主政とローマの共和政の違いについて、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。 ○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。	○教科書p. 35～43を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。 ①ポリス社会の発達と衰退の過程を追うことで、古代民主政の長所と短所をまとめる。 ②ギリシア文明・ヘレニズム文明が現代に与えた影響を、具体例を挙げながらまとめる。 ③ローマが都市国家から領域国家へ成長した過程について、ギリシアと比較しながらまとめる。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	日本史 B	○天平文化 ○摂関政治と国風文化	○天平文化 ○平安初期の政治と文化 ○摂関政治と地方の動向	「4ステージ演習ノート日本史B」の2・3(律令国家・貴族政治と国風文化) P20からP39までを教科書(P53からp72まで)と日本史図表(P76からP105まで)と史料日本史(P20からp27まで)などを参照し問題を解く。	「4ステージ演習ノート日本史B」の課題を行い授業再開後に提出する。課題の学習状況を評価に入れる。
	地理 A	緯度と経度	○緯度・経度の基本的事項を理解する。 ○時差の定義および計算方法など基本的知識を理解する。	○教科書、地図帳、資料集等を参考にして、緯度・経度、時差についてのプリント教材に取り組む。	○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用して課題に取り組んでいる。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切に解答している。(知識・理解)
公民	現代社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・生命科学と情報技術の課題	・生命・情報・環境を中心に現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚し、自分なりの考えを持つ。	pdfファイル「3章1・2・3」にとりくみましょう(教科書を熟読)。(前回と同じ)	・自分自身の生き方を見直そうとする。(観点1) ・諸課題の原因と解決方法について積極的に考察している。(観点2) ・諸資料を活用して考察している。(観点3) ・幸福・正義・公正について理解する。(観点4)
数学	数学Ⅱ				
	数学B	○数学B導入	これまで学んだ内容のうち、数学Bで用いる基本的な計算をできるようにする。	プリント4枚目	これまで学んだ内容のうち、数学Bで用いる基本的な計算ができたか。
理科	生物基礎	○遺伝情報とDNA	○遺伝情報を担う物質であるDNAについて、その構造、および遺伝情報は塩基配列にあることを理解する。	○教科書P58～P65を読み、HP上に掲載されているプリントの空欄部分1～49の適語をノートまたはレポート用紙に解答する。 ※クラスルームでも同様の課題を掲示。	○課題の内容などを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用して課題を作成している。(思考・判断・表現) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	物理	熱とエネルギー	熱と温度、仕事等の基本的な関係を学習し、それらと力学的エネルギーの関係について理解する。	教科書 P112～P123 を読み、アクセスノート物理基礎 P54, 55 のポイントチェックならびに問 58, 59 をノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答する。	・主体的に学習に取り組んでいる。ノートまたはレポートの丁寧な作成と提出(関心・意欲・態度) ・教科書を読むことにより基本事項を理解して、アクセスノートの問題を解答できているか。(知識理解)

化学	○酸と塩基 ・中和反応と塩	○酸と塩基の性質を理解した上で、中和反応とその反応で生じる塩の特徴等について、理解する。	○化学基礎の教科書P120～127を読み、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。プリンターのある人は課題を印刷して解答を直接記入してかまわない。ない人はノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答を記入して提出する。 【提出時の注意】 必ず「クラス」「出席番号」「氏名」を表記する。 レポート用紙(ルーズリーフ)は左上にホチキス留めをする。 これまでの課題も同様の処理をしておくように。	○課題の内容、振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・中和反応と塩について、意欲的に探究しようとする姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・中和反応の特徴から、それに関する事象や例について考察できる。(思考・判断・表現) ・中和滴定に関する器具の使い方や注意事項を身に付けている。(技能) ・中和反応の特徴について、基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。(知識・理解)	
保健体育	体育	○体育理論 2 単元 運動・スポーツの学び方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。	保健体育の教科書(現代高校保健体育)P. 136～156の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例(教科書の単元から抜粋) スポーツの技術と戦術。技能の上達過程と練習。効果的な動きのメカニズム。技能と体力。体力トレーニング。運動やスポーツでの安全の確保。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること(テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、書き出すことができる。(知識・理解) 提出：学校再開後・提出(こちらから指示します)
	保健	3 単元 社会生活と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康	人間の生活や産業活動は、水質汚濁・土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解する。	①保健体育ノートP. 86の問題に取り組む ②NOTE(右側ページ)に学んだことや感想を書く。 提出されたノートの解答や記述等から、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・水質汚濁・土壌汚染などの自然環境汚染について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。(思考・判断) ・水質汚濁・土壌汚染などの自然環境汚染について、理解したことを記述している。(知識・理解) 【提出】 学校再開後、保健体育ノートを提出する。	
芸術	音楽Ⅱ	○沖縄民謡に親しもう ○楽典	○沖縄特有の旋律やリズム、楽器について知る。 ○楽譜を読む上で必要な知識を習得し、今後の表現活動に生かせるようにする。	①振り返り・目標立てのレポート作成 ②沖縄民謡についてのレポート作成 ③楽典課題(PDFを印刷して取り組むこと) ※詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・沖縄民謡に関心を持ち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・音楽表現するために必要な音楽的な知識を持っている。(表現の技能)
	美術Ⅱ				

外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	Lesson 2 Dogs as Human Companions Part2(p.18-p.19)	古代から現代までのイヌと人間との関係について英語の文章を読んで適切に理解することができる。	<p>①『New One World Ⅱ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.18 part2の本文をノート（あるいはルースリーフ）に書き写し、自分なりに日本語で要点をまとめる。 ・P.18 part2の単語確認リストを作成する。 →左側の単語のリストをはじめ、分からなかった単語の意味を調べて自分なりに整理してください。 ・P.19の問題『practice』に取り組む。（答えだけでなく完成した英文を書いてください。） <p>②『Word Navi 3000』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit58-Unit62 の単語の例文をノート（あるいはルースリーフ）に書き写す。 ⇒過去の範囲に戻りました。 ・意味が分かるように・スペルが書けるように準備しておく。 <p>①・②の課題はノート・ルースリーフで一つにまとめて提出してください。</p>	<p>○提出された課題を評価資料として参考にします。</p> <p>古代から現代までのイヌと人間との関係について英語の文章を読んで適切に理解したか。</p> <p>【大事な連絡】 課題の提出ですが、4月から出ていた課題は、全てまとめて学校再開時に提出してください。ノート（またはルースリーフでホチ留め）で一つにして提出してください。週ごとに分けないでください。 なので、個別登校可能日に英語の課題を提出する必要はありません。 *英語表現Ⅱとは別にしましょう。</p>
	英語表現Ⅱ	Lesson 4 Online Shopping	・過去完了形、過去完了進行形をその目的に応じた的確に用いることができる。	<p>①『BIG DIPPER English ExpressionⅡ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右ページ p.17の問題「EXERCISES」と「TRY!」に取り組む。（答えだけでなく完成した英文を書いてください。） <p>②『スクランブル英文法・語法』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.52-P.57 第4章「助動詞」 左側の問題 番号「91～108」に取り組み、完成した英文書き写す。 <p>①・②の課題はノート・ルースリーフで一つにまとめて提出してください。</p>	<p>○提出された課題を評価資料として参考にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形・過去完了進行形をその目的に応じた的確に用いることができたか。 <p>【大事な連絡】 課題の提出ですが、4月から出ていた課題は、全てまとめて学校再開時に提出してください。ノート（またはルースリーフでホチ留め）で一つにして提出してください。週ごとに分けないでください。 なので、個別登校可能日に英語の課題を提出する必要はありません。 *C英語Ⅱとは別にしましょう。</p>
総合的な探究の時間					